

かみねっちょ新聞

令和4年 11月号

覚えていますか？

この動物



平たい尾が特徴的なこの動物は、ダム建設のスペシャリスト『**アメリカビーバー**』。アメリカやカナダに生息する齧歯目(ネズミ目)の動物です。かみね動物園でも飼育していますが、現在は非展示となっております。

なぜ非展示かと言いますと、旧猛獣舎と一緒にビーバー舎も壊したからです。「それじゃあもう見られないの？」と思ったそこのあなた、ご安心ください。旧猛獣舎とビーバー舎のあったところには、新たに展望広場と**新ビーバー舎**を作ります。

新ビーバー舎は従来よりも広く、巣の中の様子や水中の動きも観察できるような展示場にします。完成予定は来年の6月頃。今年



オープンした新猛獣舎【**がおーこく**】に続き、皆さんに楽しんで頂けるような獣舎を目指しますので、どうぞお楽しみに！

飼育員 風間

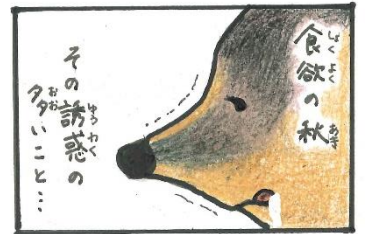
～ニホンザル担当者の日常～

#1. ちょっと危険な恋の季節

早いものでもう11月。秋ですね。秋といえば食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋と何をするにも良い季節です。しかしニホンザル担当者にとっては少しハラハラする季節でもあります。ニホンザルは特定の季節に発情がくる動物で、10月～2月頃にかけて発情が来ます。この時期になると気性が荒くなり、普段と比べて闘争が多くなります。そのため、中にはケガをしてしまう個体も、、、担当者も仕事中ケンカをふっかけられることもあります(汗)。先日展示場で掃き掃除をしている最中にちょっとつまずいたところ、何かされるのかと勘違いしたのか群れがざわつき始め、囲まれてしまいました。まさにリアル「クローズ」(漫画)。身を守ろうにもこちらの手にはなんとも頼りない小さな熊手と彼らのウンチが入ったチリトリのみ。ですがこれらを駆使してなんとか場を切り抜けました(笑)。ちょっぴり騒がしい発情期ですが、この時期にしか見られないものもあります。ニホンザルといえば赤い顔やお尻が思い浮かぶと思います。この色は皮膚の下の血管が透けて見えて赤く見えるのですが、発情期になると普段以上に真っ赤になります。秋と言えば紅葉。ぜひご来園の際は紅葉の代わりにニホンザルをじっくりご覧になってはいかがでしょうか。

ニホンザルのひろば担当・そめや

「みんなおなじでほっとした話」さく、ためかか



夏がかわるとアノアノたちはさむい冬にそはえて 体に脂肪をたくわえ始めるぞうぞう!

12月の予定

- ・園長ガイド 4日(日) ※事前応募制
- ・アジアソウ「スズコ」の誕生日会 10日(土)
- ・クリスマスイベント 24日(土) 25日(日)



詳細はかみね動物園ホームページをご覧ください

または 0294(22)5586 まで



YouTube

SNSでも写真や動画、最新の情報をお知らせ中!



Twitter



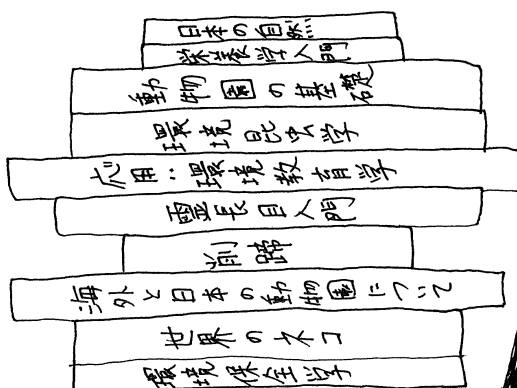
Facebook



不定期連載

たぶん

飼育員あるある



生きもの関連の
積ん読多い

少しづつ読みます...

Sae